

第6回 湯沢町総合計画審議会 要旨

日時：令和2年12月21日10時00分

会場：湯沢町役場 3階 大会議室

参加者：委員9名 事務局4名

大雪等のため、急遽欠席となる委員が多数あり、結果として、参加者が過半数を下回ったが（18名中9名出席）、以下のことから出席委員了解のもと、会を開催した。

●今回の審議会の議事が、新たなものではなく、答申に向けて、これまで個々に議論してきた内容の確認とまとめ（振り返り）であることから、湯沢町総合計画審議会条例第5条第2項のただし書きを採用した。

■湯沢町総合計画審議会条例 第5条第2項

2 審議会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。ただし、同一事件について再度招集した場合はこの限りではない。

また、欠席委員については、会議終了後、資料を送付し意見を求めた。

・・・以下要旨・・・

次第

1. 会長あいさつ

時間が限られているが、最後の審議会を行っていきたい。皆さんよろしくお願ひ申し上げます。

2. 議題

(1) 湯沢町総合計画審議会答申案について【資料1】【資料2】

○平賀主任より説明

小池委員

資料1の基本政策5のNo.8について、電子自治体の推進をSociety 5.0に移すとなるとこれに関連していると思われる成果指標「ネットワーク環境が整っていること」についても併せてという認識で良いか？

鷺見会長

その認識でよろしいと思う。

また、事務局には、合計特殊出生率について単年度の値だけでなく、3～5か年の平均値を指標としてもいいのではないと補足させていただく。

林副会長

入江委員に質問だが、お住まいのマンションで解体費を管理組合で工面できるようにしているか？もしも各マンションで解体費が工面できないとなった場合のことについて、今回の計画の次の計画になるかその先になるかだが、考える必要があると感じる。

入江委員

ピステ湯沢では、解体を踏まえた経理を行っているが、そういったマンションは少数だと感じている。マンション住民はいざという時は逃げればよいという考えがあるようにも思える。

林副会長

いざ解体するとなれば、行政の介入も検討していかなければならないと思うが、地権の関係もあり、時間も手間もかかる手続きになることが想定される。次回以降、この点を踏まえることは必須となると思う。

佐久間委員

町民主体で計画の実行が進められなければならない。今回策定する総合計画をより多くの町民に共有していく必要があると思うが、ダイジェスト版のようなものの作成予定はあるか。

入江委員

前回、小中学校の垣根を飛び越えた部活動の設立を申し上げたと思うが、その点が記載されていない。もう少し具体的に記載していただきたい。

鷺見会長

入江委員の意見を踏まえ、保・小・中一貫校の特徴を活かした「交流」といった内容を答申に追加するということをお願いしたい。

ダイジェスト版の作成予定はあるか。

平賀主任

計画が完成したときには、ダイジェスト版のような形で広報等でお知らせしたいと考えている。

富沢課長

部活動については、小学校5、6年生が中学校の部活動にお試し参加できるシステムができている。また、地域交流センターで、学園の児童・生徒が合同で夏休みの宿題に取り組めるようになっている。こうした取り組みは他の学校ではなかなかできない取組だと思う。

入江委員

いずれにせよ、教員同士の交流・コミュニケーションが必要になってくると思う。また、そういったスタンスを持つことが重要だと考える。それも踏まえて検討を進めていってほしい。

3. その他

(1) 今後のスケジュール

- ①12月24日：湯沢町総合計画審議会答申書提出
- ②12月下旬：答申内容に対する検討（役場内各担当）
- ③1月中旬：湯沢町議会全員協議会にて計画案を説明
- ④1月21日：パブリックコメント開始（30日間）
- ⑤2月下旬：湯沢町総合計画（案）確定
- ⑥3月初旬：湯沢町議会へ総合計画案に関する議案提出
- ⑦3月下旬：湯沢町議会で議決後、湯沢町総合計画確定

(2) その他

○富沢課長より、
キッズスペース「雪ん子」の整備事業の説明・報告

林副会長

雪国の生活は、雪のない地域と比べるとコストが様々な項目でかかってくるので、補助金の内容の再検討や新設も検討していったほうがいいと思う。

富沢課長

最近では、当町がターゲットとしている世帯が続々と転入してきていただいでいて、町が提供している補助金のほとんどを利用可能になっている。今後もニーズを踏まえて施策展開をしていきたいと考えている。

また、今年度から移住の業務をきら星に委託しているが、その業務の中で移住後のコミュニティ形成等の支援も行ってもらっている。

弦巻委員

確認だが、人口の総括表について、湯沢町では、県外からの転出入が多いと見受けられるが、その大半はマンションへのシニア層が占めているのか？

鷲見会長

A3の資料を見ていただくと、20代の動きも結構見られるし、30～40代の移住の動きもある。もちろんシニア層のボリュームもあるが、以前と比べ少なくなってきた。

入江委員

数字は住民台帳で確認できるが、転入出の理由はなかなか確認できない。転入・転出者に登録時、1年後、2年後といったような間隔で直接聞いたらどうか？

富沢課長

転入・転出の理由については、ヒアリングしている。理由の多くは生産年齢人口の層なので仕事が一番の理由となっている。

入江委員

是非、今後深掘りして今後活かしてほしいと思う。